

きょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.674

2025 年 4 月 23 日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION

業務委員会を開催

2025 年度要員計画について議論

Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION / Japan Railway Tokai Workers UNION

4 月 23 日、業務委員会を開催し、「2025 年度要員計画」について会社から説明を受け、議論を展開した。

2025 年度初は、システム化・省力化施策による効率化を原資として、中央新幹線の推進のほか、新幹線列車本数増、営業施策強化、グループ収益力強化等に要員が措置され、さらに 2025 年度も中央新幹線推進をはじめ、営業施策強化、グループ収益力強化等に増員されることを確認した。さらに、**人事・賃金制度の見直しに伴い、管理者が果たすべき役割が一層重要になることを踏まえ、一部の規模の大きい乗務員職場等に管理者を増配置する**ことが示された。

また、2025 年度に予定するシステム化・省力化施策について、安全の確保を大前提に施策を進めることを求めるとともに、グループ会社等の事業や雇用に影響を与えるものはないことを確認した。具体的な議論については、地方協議にて丁寧に行うことを求めた。

なお、新幹線乗務員の一律での休日勤務指定については、万博輸送をはじめ、お客さまのご利用状況、足元の需給状況等を踏まえると、今年度についても「2～3 泊程度」発生する想定が示された。これに対して、最大限の要員確保や乗務員養成の実施、新規採用者数の増に取り組むとともに、不断に業務見直し等を進め、早期に解消するよう求めた。

また、**M365 のアカウント増配備や、工務系統一般社員への業務用スマホの個人貸与など、業務効率化に資する取組みについての前進を確認**した。さらに、名古屋セントラル病院では**放射線技師についても、5 月から J ネット端末にて各自が勤務旅費システムに勤務実績を入力する方式に変更する**ことも明らかとなった。組合員が安心して働くことができるよう、引き続き、必要な改善に向けて会社に働きかけていく。

◆ 2025（令和 7）年度初要員数

基準人員	16,550 人	（前年比 +100 人）
社員数	21,200 人	（前年比 ▲50 人）